



中洋小だより 11月



【学校教育目標】 地域を愛し、地域からも愛される児童の育成

【めざす学校像】 美しい学校 (美しい環境 美しい心と姿)

中洋小のHPは
こちらから

令和6年のカレンダーも後1枚になります。2学期は行事の多い学期でした。運動会に始まり、各学年の遠足や音楽祭への参加、岩国寿司作り。教科書では学べない事もしっかり学習出来たと思います。このような学習も、地域の方々や保護者の方々のご理解ご協力によって出来ます。ありがとうございます。一つ一つの取組を大切にしていきたいと思えます。

さて、今月も本をご紹介します。

『電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ (すずらんの会編) 角川書店 平成14年11月20日初版発行』です。

「長野県立こども病院には、長期入院している子どもが学ぶための院内学級があります。この本に収められているのは、小さな身体で精一杯、病氣と闘いながらも、院内学級では仲間と楽しく学ぶ子どもたちの輝く言葉です。行間から、「命」と向き合わずにはいられない日々の中で、子どもたちが息が詰まるほど激しく“闘う”姿が伝わってきます。」(はじめより引用)

この本の中から、1つの詩とその詩を書いた子どもの母親の手記を紹介します。

(本では漢字にルビがありますが、名前以外省略しています。)

命 <small>みやこしゆきな</small> 宮越由貴奈 (小学四年)	命はとても大切な 人間が生きたための電池みたいだ でも電池はいつか切れる 命もいつかはなくなる 電池はすぐにとりかえられるけど 命はそう簡単にはとりかえられない 何年も何年も 月日がたつてやっと 神様から与えられるものだ 命がないと人間は生きられない でも 「命なんかいらぬ。」 と言つて 命をむだにする人もいる まだたくさん命がつかえるのに そんな人を見ると悲しくなる 命は休むことなく働いているのに だから 私は命が疲れたと言うまで せいっぱい生きよう
---	--

宮越由貴奈さんの母 陽子さん

5歳の時、神経芽細胞腫と診断され11歳で亡くなりました。

信大病院での抗ガン剤治療や腎臓を片方取る手術に始まり、こども病院に移っての自家骨髄移植やその他にもいろいろなつらい治療を受けながら、入退院を繰り返していた頃、書いたものです。命という作品を書いた頃、テレビで流れるニュースと言え、いじめだとか自殺だとかが多く、同じ頃病院では、一緒に入院していた友達が何人か亡くなりました。生きたくても生きられない友達がいるのに自殺なんて……。そんな感じでした。それにちょうど院内学級で電池の勉強をしたばかりだったそうです。この詩を書いた4ヶ月後に亡くなりましたが、これに書いた通り十分精一杯生きました。書くことがそんなに得意ではなかった娘のこの『命』という詩は11年という短いけれど凝縮された人生の中で得た勉強の成果なのではないかと思えます。

12月行事予定

主な活動から

日	曜	学校行事等
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	自動車図書館
6	金	A L T
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	下校時刻【全学年 15:05】
13	金	A L T 下校時刻【全学年 13:05】
14	土	
15	日	
16	月	下校時刻【全学年 14:15】
17	火	
18	水	
19	木	自動車図書館
20	金	個人懇談 A L T 下校時刻【全学年 13:05】
21	土	
22	日	
23	月	個人懇談 下校時刻【全学年 12:50】
24	火	終業式 給食無し 下校時刻【全学年 11:10】
25	水	冬期休業（～1月7日）
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	
備考		1/8(水)始業式・給食開始 1/16(木)全校縦割り班遊び 1/20(月)クラブ 1/23(木)人権教育参観日 1/30(木)避難訓練

1年生、2年生が遠足に行きました。

10月17日に徳山動物園にバスに乗って行きました。班行動でも、ルールを守って楽しく過ごすことが出来ました。



6年生が広島に平和学習に行きました。

10月29日に広島平和記念公園に行きました。3名の地域の方も引率で参加してくださいました。外国の方にもインタビューをしました。



5年生が音楽祭に参加しました。

10月31日に5年生が岩国市の音楽祭に参加しました。合奏とリコーダー奏をしました。笑顔で歌い、大きな拍手ももらいました。



4年生が岩国ずし作りに挑戦しました。

11月5日に4年生が「岩国ずし」作りに挑戦しました。8名の地域の方を講師に迎え、保護者の方にも手伝っていただきながら取り組みました。

